

【市民文教委員会】第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	1
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	心豊かに暮らせるまちづくり
第1節	共に助け合い地域が元気なまち

点検評価項目	1 地域のつながりと新しい地域コミュニティの創造					
	(1)地域コミュニティの推進					
	②住民が主体となった地域運営の促進					
	福祉や防災、環境など、拡大する地域課題に対応するため、住民が主体となり、共助による地域運営を考える地域に対し、現状の把握、課題の抽出、解決策の検討・実施などの取組を支援し、将来に渡り継続して助け合い、元気を維持できる地域づくりを促進します。					
	数値目標	-				
		基準数値	-	前期目標数値 (R1目標数値)	-	R1実績値
	数値目標に係る特記事項					
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
	令和元年度取組・進捗状況					
	<p>地域福祉の分野では、第4期地域福祉計画において、地域住民が主体となり関係機関・団体と広く繋がり、その連携を基盤にして地域福祉活動に取り組むことができる環境づくりを目指しており、地域課題の早期発見から相談、解決に向けた流れの中で、地域住民や民生児童委員、地域包括支援センターをはじめとした地域に関わる様々な主体とのネットワークを構築している。</p> <p>地域では「自治連と民児協との懇談会」(城南地区)や「自治会長と民生児童委員との合同会議」(中舞鶴地区)などを開催し、民生児童委員、自治会長、地域包括支援センター、社会福祉協議会、行政など地域に関わる人々が、地域の課題を共有し解決に向けた協議を行っている。</p> <p>福祉分野以外でも、地域住民が主体となった、地域を元気にする取り組みが行われており、行政としても、「元気なまちづくり事業補助金」等を活用しながら、これらの取組を積極的に支援している。</p> <p>■「元気なまちづくり事業補助金」元年度実績:3地区(青井校区振興会、南福祉協議会、京月東町自治会)</p> <p>令和元年度の地域の取り組みの一例としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●青井地区では、住民と城北中学校区地域支援協議会、城北中学校、福井小学校とが連携し、フジバカマを地域の宝物として育て、地域への誇りや愛着を次代を担う子どもたちに伝える活動に取り組んでいる。</li> <li>●和田地区では、中舞鶴小学校の児童の総合学習をきっかけに始まった和田海岸「藤ノ森公園」の再生に向けた活動に、地域の大人たちを巻き込みながら清掃活動などを行い、「藤ノ森まつり」を開催された。</li> <li>●神崎地区では、穴観世音や妙見の滝、湊十二社、鉄橋などの地域資源をPRするために、環境整備や案内板等を設置。大学生によるフィールドワークと地域住民との意見交換なども行われた。</li> </ul>					
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について						
地域が主体となった前向きな取り組みに対して、課題解決のための部署の職員が連携して地域に関わり、地域の皆さんの想いや悩みを聞かせていただきながら地域に寄り添うことで、新しい地域コミュニティの創造に努める。						

担当課	地域づくり支援課、福祉企画課
-----	----------------

【市民文教委員会】第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	2
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	心豊かに暮らせるまちづくり
第1節	共に助け合い地域が元気なまち

点検評価項目	1 地域のつながりと新しい地域コミュニティの創造					
	(2)多様な主体の連携による新しい地域コミュニティの創造					
	①新たな地域コミュニティの形成促進					
	自治会だけでなく、市民活動団体など地域に関わる多様な主体が、自治会の単位よりも大きな枠組みで連携し、拡大する地域課題の解決にあたるなど、新しい枠組みによるこれからの地域コミュニティのあり方を検討し、その形成を促進します。					
	数値目標	-				
		基準数値	-	前期目標数値 (R1目標数値)	-	R1実績値
	数値目標に係る特記事項					
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
	令和元年度取組・進捗状況					
	市民活動団体など地域に関わる多様な主体が自治会の単位よりも大きな枠組みで連携した取組みの支援を行っている。					
(元年度の主な取り組み)						
①南福祉協議会 自治会をはじめ、地域内の様々な団体等が連携して組織されている南福祉協議会では、地域の防災や健康づくり事業、住民相互の見守り啓発等に取り組んでおられる。 ・桜再生事業 5月と11月に桜の手入れ作業(施肥、剪定、土壌改良など)、2月に植樹(3本)を実施。(30年度からの継続事業) ・健康づくり事業 舞鶴ちゃったスポーツクラブと連携し、年間を通じたウォーキングイベントを企画・実施(ウォーキング教室=6月(15日)、月いちウォーキング=7~11月、体力測定会=2月、「元気なまちづくり事業費補助金」を活用)						
②大浦地区 大浦地区は少子高齢化が深刻な状況にありながら、人のつながりも強い地域でもあることから、多様な主体が連携して地域課題の解決にあたるための地域連携のあり方を地域住民と行政の協働事業の中で検討。 大浦振興協議会が中心となって、平成29年度に行われた全住民アンケートで寄せられた地域課題を、住民が主体となって解決する仕組みづくりに取り組んでおられる。						
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について						
地域ごとに、それぞれ個別の課題や特性があることから、そこに住む住民が主体となり、それぞれの実情に応じた連携の仕組みや組織が必要であり、今後も地域を元気にするために「がんばっている地域」を積極的に支援する。						

担当課	地域づくり支援課
-----	----------

第1編	まちづくり戦略
第1章	心豊かに暮らせるまちづくり
第3節	子育て環境日本一を目指すまち

点検評価項目	1 子どもの豊かな育ちを支える環境づくり					
	(1)子どもの主体性を育む乳幼児教育の推進					
	②乳幼児教育センターの設置及び機能充実					
	<p>研究・研修の実施や乳幼児教育に関する実践活動の多様な主体とのコーディネート機能を担う本市の拠点施設として乳幼児教育センターを設置し、研究機関や療育機関、子育て支援団体等の関係機関と連携しながら、より効果的な機能が発揮できる運営に努めます。</p> <p>また、公立・私立、園・校種の枠を越えた研究・研修の充実を図るとともに、保育者・教員等の人材育成に努めるとともに、乳幼児教育コーディネーターの育成・配置の充実を図り、保育所、幼稚園、認定こども園、小学校への訪問・巡回を通じて、保育・教育内容やその環境等への適切な助言等を行うほか、各主体の連携を深め、乳幼児教育のさらなる質の向上を図ります。</p> <p>さらに子育て世代包括支援センター(子育て支援基幹センター、保健センター)、子ども総合相談センター等と連携し、地域・家庭における乳幼児教育ビジョンの普及と乳幼児教育の充実を図ります。</p>					
	数値目標	基準数値	-	前期 目標数値 (R1目標数値)	-	R1 実績値
	数値目標に係る 特記事項					
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
	令和元年度取組・進捗状況					
	<p>平成31年4月、本市の乳幼児教育の拠点となる舞鶴市乳幼児教育センターを公立幼保連携型認定こども園舞鶴こども園内に開設。本センターでは、「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」に基づき、地域・家庭や保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園の保育者、小中学校の教員がそれぞれの役割を果たすために乳幼児教育・発達支援に関する分野においてコーディネート・サポートする役割を担っている。</p> <p>乳幼児教育コーディネーターや相談員を中心に、公私、園校種を越えた乳幼児教育の質の向上や保幼小連携等に関する研究・研修を行い、各園への園訪問等を通じて助言やサポートを実施し、乳幼児教育の充実を図るよう取り組む。また、関係機関と連携し、講演会やニュースレターの発行などを通じ「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」の周知を図った。</p> <p>《乳幼児教育に関する事業、ビジョンの周知》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会の開催2回(延310人)</li> <li>・事業報告会の開催1回(延約190人)</li> <li>・地域、保護者向け講座2回(延約20人)</li> <li>※子育て支援基幹センターと連携して実施</li> <li>・研修ニュースレターの発行11回</li> </ul> <p>《乳幼児教育の質の向上研修》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもを主体とした保育研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開保育3回(延76人)</li> <li>・グループワーク研修4回(延81人)</li> <li>・研究指定園2園(延6回)</li> </ul> </li> <li>○保幼小連携研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク、講義1回(延43人)</li> <li>・公開保育2回、公開授業2回(延49人)</li> </ul> </li> <li>○乳幼児教育コーディネーター、発達支援教育コーディネーターの講師派遣5回</li> <li>○乳幼児教育コーディネーターによる園内研修4回</li> </ul>					
	取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について					
<p>①乳幼児教育センター、乳幼児教育ビジョンの周知 乳幼児教育センターを中心に「乳幼児教育ビジョン」の市民等への周知と乳幼児教育の質の向上研修の継続と充実を図る。また、乳幼児教育ビジョンの実現と質の高い乳幼児教育には、保育者の人材確保と育成は欠かせないと考えている。</p> <p>②保育者の確保、育成 人材確保については、就労や保育の悩み等の相談ができる保育士相談窓口を開設し、対応する。人材育成については、乳幼児教育コーディネーターが園を訪問し、保育等への助言を行うなど園内の実践・研修の充実に取り組み、育成を図る。また、関係機関と連携して人材確保・育成の検討を進めていく。</p> <p>③保幼小連携の充実 学校や教育委員会との連携が重要であることから、今後もさらに連携を進めていく。また、0歳から15歳までを切れ目なくつなぐ「保幼小中接続カリキュラム～まいるカリキュラム015」の活用も進めていく。 ※京都府教育委員会「公立小学校と幼児教育施設との協働による幼小接続推進事業」の研究指定を受け、保幼小連携の充実を図る。</p>						

【市民文教委員会】第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	4
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	心豊かに暮らせるまちづくり
第3節	子育て環境日本一を目指すまち

点検評価項目	1 子どもの豊かな育ちを支える環境づくり					
	(1)子どもの主体性を育む乳幼児教育の推進					
	③成長や発達に支援が必要な子ども施策の充実					
	<p>支援の必要な子どもや保護者に対して、相談の場や親子教室などを実施するとともに、保育所・幼稚園・認定こども園への巡回指導や支援などを行う「にじいろ個別支援システム(※)」の充実を図り、一人ひとりの発達に応じたきめ細かな支援に努めます。</p> <p>※にじいろ個別支援システム…市内の専門機関のスタッフが、保育所等を巡回し、支援が必要と考えられる子どもの集団生活の状況等を把握した上で、個々に応じた保育環境の整備や適切な支援方法について助言等を行うもの。</p>					
	数値目標	基準数値	-	前期 目標数値 (R1目標数値)	-	R1 実績値
	数値目標に係る 特記事項					
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
	令和元年度取組・進捗状況					
	<p>《発達支援リーダー研修》                  発達支援、発達障害等の基礎から支援技術まで総合的に学び、保育園(所)、幼稚園、認定こども園等において基礎的な知識や技術を修得した人材を育成するため研修を実施(京都府保育協会・舞鶴市の共催)。                  ・3回(1回5時間×3回=15時間)                  ・参加申込人数48人(うち市内21人)</p> <p>＜集団生活育みルーム「にこにこルーム」＞                  社会性の基盤をはぐくむ重要な時期である乳幼児期(1歳半から3歳まで)の子どもにとって、親以外の大人や、同年齢の子どもと過ごす経験(集団経験)が必要であり、『にこにこルーム』において集団の場を提供し、支援の必要と思われる親子をサポートすることを目的として実施。                  ・実施回数:40回                  ・参加人数:延べ約640人 平均約8組                  ・1歳児:9人、2歳児:14人、3歳児:1人                  ※就園先へ参加の様子や支援方法等を引き継ぐ(6園 9名)</p> <p>＜コミュニケーション力育みルーム「なかよしルーム」＞                  集団参加しにくい、人とうまく関われないなどのコミュニケーションや社会性に課題のある保育所、幼稚園、認定こども園に通う支援の必要な子どもとその保護者を対象に、小集団においてコミュニケーション力や社会性を育む機会を提供し、就学に向けてつなぐことを目的として実施。                  ・実施回数:5歳児グループ4回 4歳児グループ7回                  ・参加:5歳グループ8人(2園) 4歳グループ10人(4園)                  ・子ども:体を動かす遊び、ルールのある遊び等                  ・保護者:懇談3回(SSTの説明、ペアトレ等)、個別面談4組(希望者のみ)                  ※就園先に参加の様子や支援方法等を引き継ぐ。5歳児については就学先にも引き継ぐ(6校 8人)</p>					
	取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について					
現在、実施している園への巡回や研修等の事業を継続するとともに充実を図る。学校や教育委員会、保健センター、療育施設等の関係機関と連携を深め、園での支援を小学校以降への切れ目なくつなぐための方法等について検討をしていく必要がある。また、保健センターとも連携して、就園前の支援の必要な親子をサポートし、園に対しても支援方法等をつなげていく。						

担当課	幼稚園・保育所課
-----	----------

【市民文教委員会】第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	5
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	心豊かに暮らせるまちづくり
第3節	子育て環境日本一を目指すまち

点検評価項目	3 夢に向かって将来を切り拓く子どもを育成するための環境づくり						
	(3)地域社会で支える教育と子育て支援の充実						
	①地域との連携による教育・子育て支援の推進						
	<p>コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)(※)により、地域と共にある学校づくりを推進するとともに、地域と学校が連携・協働し、地域全体で学校を支える学校支援地域本部の取組を推進します。</p> <p>また、ボーイスカウトや海洋少年団など、地域で活動する団体と連携し、子どもの健全な育成を支援します。</p>						
	※コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)…保護者や地域住民等で構成する委員が学校運営に関して協議をする機関を置く学校のこと。						
	住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合(全国学力学習状況調査)						
	数値目標	基準数値	小学校(6年生) 80.3%	前期 目標数値 (R1目標 数値)	86% (86%)	R1 実績値	85%
			中学校(3年生) 51.6%		55% (55%)		55.2%
	数値目標に係る 特記事項						
	点検評価項目施策の推進に係る説明						
令和元年度取組・進捗状況							
<p>【コミュニティ・スクール、学校支援地域本部の取組】</p> <p>従来から学校を支援いただいている様々な個人・団体に加え、地域ぐるみで小中一貫教育を進めるため、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を全小中学校(小学校18校、中学校7校)に設置したほか、青葉・城北中学校区では小中学校一体となった学校支援地域本部の取組により地域・学校の連携・協働活動が進んでいる。</p>							
<p>◎進捗状況</p> <p>学校運営協議会の設置(小中一貫教育導入校区から順次、各小中学校に設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度:城北中学校区(城北中、明倫・吉原・余内・福井小)、加佐中学校区(加佐中、岡田・由良川小)</li> <li>平成30年度:青葉中学校区(青葉中、三笠・倉梯・倉梯第二・与保呂小)、和田中学校区(和田中、中舞鶴小)</li> <li>令和元年度:白糸中学校区(白糸中、新舞鶴・志楽小)、城南中学校区(城南中、中筋・高野・池内小) 若浦中学校区(若浦中、朝来・大浦小)</li> </ul> <p>(参考:学校運営協議会の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員の構成等:保護者、地域住民、教職員等で10人以内、任期:2年</li> <li>協議会の機能と役割:学校の教育目標や経営計画等基本方針の承認、校長又は教育委員会に対する意見、学校の運営状況の点検・評価</li> <li>年2~3回程度、各学校で開催</li> </ul>							
<p>【地域で活動する団体との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>舞鶴海洋少年団への活動支援(企画政策課、学校教育課)</li> <li>舞鶴海洋少年団活性化協議会(令和2年2月26日、担当者出席)</li> <li>入団式出席(市長、教育長)、団員募集案内チラシの配布協力(小中学校への案内)</li> </ul>							
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について							
<p>令和元年度までに全ての小中学校でコミュニティ・スクールの設置が完了した。小中一貫教育の推進と合わせて、学校と家庭、地域の役割分担による地域と共にある学校づくりを推進していくために、学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりの機運の醸成や仕組みづくりに引き続き取り組む。また、子どもの健全育成のため、ボーイスカウトや海洋少年団など、地域で活動する団体との連携を推進する。</p>							

担当課	学校教育課
-----	-------